



ふちんかん

今をさること 23 年前、国鉄から画期的な企画切符が発売されました。青春18のびのび切符です。普通列車のみながら全線乗り放題、今では知らない人の方が少ないくらい有名な企画切符ですが、発売当時は……。今回は発売当時、地方駅で起きた珍事についてお話ししましょう。

当時、高校生だった私は、地方鐵道の走行写真を撮りによく旅行をしていました。遠方の地域は周遊券などで訪れることができるのですが、大阪から 200km 前後のエリアは、普通に切符を買くとみよーに高いので空白域となっていました。そんな中この切符の発売されました。それはもう小躍りして喜んだものですよ。

発売当時の青春 18 のびのび切符は、一日券3枚と二日券1枚、そしてなぜかワッペンから成っており 8000 円でした。

青春 18 のびのび切符を手にした私は、春休みに山陽地方の撮影と乗りつぶしを企画しました。当時、播但線の福崎駅近くに父が単身赴任していたので、そこを拠点として、五日連続の日帰り旅行を計画したのです。



初日は父の車で福崎へ。駅で降ろしてもらい青春 18 のびのび切符の旅のスタートです。ワッペンを貼ったカメラバックを肩に意気揚々と改札口へ向かいます。

……。改札の駅員さんの手が止まります。怪訝な表情です。駅員さんは私の差し出した切符を持ったまま駅長室へ……。そしてそのあと、なんとということでしょう、私までも駅長室へ連れて行かれました。万引きをして連行されたような感じです。

発売当時、地方の中堅都市とはいえ、特急も停まらないような駅には企画切符の連絡が届いていなかったのでしょうか。まるでニセ切符扱いです。そう考えると「のびのび」切符って……。ふざけた名前ですな。

「ちょっと問い合わせてみますんで」駅長さんらしき人が電話をしています。私は所在なく駅長室の中で立っていました。通りかかる駅員さんの視線が痛い。何回かの電話のやりとりがあって、ようやく正式な切符であると確認されたようです。よか

った、無罪放免です。……当たり前ですよ。

今の私なら文句の一つもねじ込んでやるところですが、当時は気の弱い高校生、予定していた列車に乗れることに安堵して、福崎駅を後にしました。

その日は別府鉄道や加古川線周辺、翌日は同和鉱山片上線の撮影と、毎日福崎から出かけ福崎へ戻ってきました。さすがに二日目以降は何の問題もありません。もちろん他の駅での乗り降りも問題ありませんでしたから、やはり初日は福崎駅の連絡見落としだったのでしょ。

さて、いよいよ最終日、いつものように朝早く福崎駅へ向かいました。すると駅舎の入り口に青春 18 のびのび切符の発売を知らせる看板が。ようやくこの切符の凄さが判ったかあと私は勝ち誇った気分になりました。そして初日と同じように意気揚々と改札へ進みました。

この日は和田山方面へ向かうため、跨線橋を渡ります。



そこで……こんな壮絶モノを見つけてしまいました。



北海道だけ行って帰るだけになってしまうのだが

裏側



夜のうちに駅員さんが描かれたのでしょう。首からカメラをさげていた私は、顔から火が出るくらい恥ずかしかったですよ。ほんと最終日で良かったですよ。

サウサンパイ風の絵は良いとして、鉄道マンが列車をこんなに簡単に描いても良いものか？ それと このダサイ高校生って私がモデルか？